平成29年度 第1回豊川市都市計画審議会議事録

1 日時

平成29年12月21日（木）午前9時30分～午前10時10分

2 会場

豊川市役所 議会協議会室

3 議案

(諮問議案)

第1号議案 東三河都市計画道路（3・1・5号前芝豊川線）の変更について
（愛知県決定）

第2号議案 東三河都市計画道路（3・4・1号国道1号線）の変更について
（愛知県決定）

4 出席委員【13名】

- (1) 市都市計画審議会条例第3条第2項第1号委員
大貝彰 駒木伸比古 宇都野武 岡田敏昭 足立千恵子
田中みや子 伴正男 篠崎邦江 大桑兌行 各委員
- (2) 市都市計画審議会条例第3条第2項第2号委員
堀内重佳 松下広和 各委員
- (3) 市都市計画審議会条例第3条第3項委員
飯田進 柴田厚 各委員

5 欠席委員【3名】

浅野純一郎 松下紀人 石川豊久 各委員

6 傍聴者数（定員10名）

3名

7 諮問依頼者

豊川市長 山脇実

8 事務局及び議案説明者

副 市 長 田中義章

都 市 対 策 監 鈴木高

建 設 部 次 長 佐野武史

都 市 計 画 課 増田課長、山本主幹、田上都市計画課長補佐、
宮本計画係長、大澤主任、横田技師

午前 9時30分 開会

1 開会

(事務局：都市計画課長補佐)

本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。ただ今より、「平成29年度第1回豊川市都市計画審議会」を開会させていただきます。私は事務局の都市計画課田上でございます。よろしくお願いたします。

まず始めに、定足数の確認についてご報告いたします。本日は委員定数のうち半数以上の方がご出席されておりますので、豊川市都市計画審議会条例第7条第2項の規定により、本審議会は成立していることを申し上げます。

次に、次第を1枚おめくりいただき、委員名簿をご覧ください。本日の審議会は本年度初めての開催となり、新たに委員にご就任いただいた方がお見えですので、事務局から紹介させていただきます。

学識経験者の第2項第1号委員として「駒木伸比古様」、「岡田敏昭様」、市議会議員の同第2号委員として「堀内重佳様」、「松下広和様」、関係機関の代表である第3項委員として「飯田進様」以上の皆様が、今年度新たに委員にご就任いただいた方々でございます。

なお、皆様の役職等につきましては、委員名簿にてご紹介させていただきます。また、本日の配席表も配布しておりますので、合わせてご覧ください。

次に、傍聴についてご説明いたします。本日は豊川市都市計画審議会運営細則第6条の規定に基づきまして、本審議会の傍聴を可とすることになっております。

つきましては、傍聴の皆様には、お配りしています「傍聴に当たっての注意事項」の内容を遵守し、傍聴していただきますようお願いいたします。また、写真撮影につきましては、各議案の審議が始まるまでとさせていただきますので、ご了承ください。

それでは次第に基づき、審議に先立ちまして副市長よりごあいさつを申し上げます。

2 副市長挨拶

(副市長)

皆さん、おはようございます。副市長の田中でございます。本日は、年末の大変お忙しい中、委員の皆様方のご出席をいただきまして、心からお礼申し上げます。また、平素から本市の都市計画行政にご尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、今回の議案でございますが、本市はもとより東三河全体にとっても大変重要な路線であります、東三河都市計画道路3・1・5号前芝豊川線及び東三河都市計画道路3・4・1号国道1号線の関連する2件でございます。

この2件のうち、一部構造を嵩上げ式に変更するという事で、今回のご審議の中心となる路線となりますのが、重要港湾の三河港や名豊道路前芝インターチェンジと東名豊川インターチェンジを結ぶ延長約12kmの幹線道路であります「前芝豊川線」でございます。

この「前芝豊川線」は東三河地域の持続的な発展と国際的な物流や産業拠点の形成を担う地域の幹線道路網として東三河縦貫道路に位置づけられた路線であり、三河港の取り扱い貨物量が年々増加傾向にある中、近年ますますその役割が期待されているところでございます。

しかしながら、もう一つの議案となっております路線「国道1号線」とは、宮下の交差点で平面交差のままであるという現状でございまして、この交差点は従来から愛知県道路交通渋滞対策推進協議会において地域の主要渋滞箇所を選定されているところでございますが、さらに平成28年3月6日の小坂井バイパス無料化により渋滞長が伸びてきている状況でございまして、通勤や物流などへの交通に支障をきたしているところであります。

こうしたことから、今回の両路線の都市計画の変更につきましては、当該交差点を立体交差と変更することで、様々な課題を解決し円滑な交通処理を図ることを目的としており、先ほど申し上げましたように、豊川市にとっても東三河全体にとっても大変重要なものでございます。

本日は各議案につきまして、委員の皆様の慎重審議、活発なご議論を頂きたく存じますので、よろしく願いいたします。

(事務局：都市計画課長補佐)

副市長は、この後、他の公務がありますので、これで退席させていただきます。

～副市長退席～

3 会長選出

(事務局：都市計画課長補佐)

それでは、次第3にうつる前に、お手元の配布資料について確認させていただきます。

お手元には、A4版の次第、委員名簿、配席表、ホッチキス左止めの審議会資料の冊子、A3版で右上に「別添資料1」と記載してあります資料、最後にA4冊子の都市計画審議会関係法令をご用意しております。過不足等はありませんでしょうか。

次に、本日の事務局出席者を申し上げます。建設部都市対策監、建設部次長、都市計画課、道路建設課、愛知県東三河建設事務所道路整備課、以上が出席しております。

それでは、次第3にうつります。本日は、本年度第1回目の審議会でございますので、豊川市都市計画審議会運営細則第3条第1項の規定に基づき、新しい会長が決まるまでの間、前年度会長の大貝委員に仮の議長をお願いいたします。

(仮議長：前会長)

おはようございます。大貝でございます。よろしく申し上げます。今年度、最初の審議会ということで、議長が決まるまでの間、私が仮の議長を務めさせていただきますので、ご協力をお願いします。

それでは、次第3「会長選出」について、事務局より説明をお願いします。

(事務局：都市計画課長補佐)

それでは会長選出の方法について、ご説明いたします。会長職は本審議会条例第6条第1項の規定により、学識経験委員の12名の皆様から選出していただくこととなります。選出の方法としましては、選挙によるものと規定されておりますが、運営細則第2条第4項において、「常任委員に異論がないときは、指名推薦を選挙とみなす方法」も規定されていることを加えさせていただきます。説明は以上でございます。

(仮議長：前会長)

ありがとうございました。それでは、会長選出の方法について決めたいと思います。ご意見がなければ、運営細則第2条第4項の規定により、指名推薦の方法でよろしいでしょうか。

【異議なしの声あり】

(仮議長：前会長)

ありがとうございます。「異議なし」との声がありましたので、指名推薦の方法で会長を決めたいと思います。早速ですけども、ご推薦をお願いいたします。

(A委員)

はい、議長。

(仮議長：前会長)

はい、A委員どうぞ。

(A委員)

本年度も、前年度会長である大貝委員を推薦したいと思います。よろしくお願ひします。

(仮議長：会長)

ただいまA委員より、「会長に私を」との発言がありましたが、皆様いかがでしょうか。

【異議なしの声あり】

(仮議長：会長)

「異議なし」の声をいただきましたので、前年度に引き続き、私が会長を務めさせていただきます。

会長挨拶

(会長)

改めまして、今年度の会長となりました大貝でございます。今年度よろしくお願ひします。本日の議案も豊川市にとっては、非常に重要な道路整備の案件ですし、今後、さらに都市計画に関わる重要な案件が控えていると思います。今年度の審議会が、活発な意見をもって、円滑に運営されますよう務めてまいりますので、皆様方のご協力を賜りますようお願いいたします。

4 会長職務代理者の指名

(会長)

それではお手元の次第に従いまして、次第4「会長職務代理者の指名」を行います。本審議会条例第6条第3項の規定によりますと、「職務代理者は学識経験委員のうちから会長が指名する」となっておりますので、浅野委員を指名

させていただきます。よろしくお願いいたします。なお、浅野委員は本日欠席されておりますが、指名があればご承諾いただけることとなっておりますので、よろしくお願いいたします。

5 議事録署名人の指名

(会長)

続きまして、議事録署名人の指名を行います。本審議会運営細則第9条第2項の規定では、「議長が出席した常任委員のうちから2人を指名する」こととなっております。そこで、議事録署名人には、堀内委員と松下広和委員を指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

6 第1号議案「東三河都市計画道路(3・1・5号前芝豊川線)の変更について」(諮問) 第2号議案「東三河都市計画道路(3・4・1号国道1号線)の変更について」(諮問)

(会長)

それでは、審議会資料に基づきまして、議事に入ります。本日の審議は、第1号議案及び第2号議案となりますが、この2件の議案については関連する案件となっているため、審議を一括して行いたい旨、事務局から申し出を受けております。議事を円滑に進めるため、そのような進め方といたします。

第1号議案及び第2号議案は、愛知県が決定する都市計画となります。愛知県から今回の変更案に係る豊川市への意見照会を受け、事前に市長から本審議会に「諮問」されていますので、本議案の審議を行うものです。

それでは事務局から議案の説明をお願いします。

7 第1号議案及び2号議案説明

(事務局：都市計画課長)

都市計画課長の増田でございます。よろしくお願いいたします。

それでは第1号議案及び第2号議案の都市計画道路2路線の変更について、説明させていただきます。お手元「審議会資料」の表紙をおめくりいただいて、1ページをご覧ください。変更する都市計画の種類及び名称ですが、東三河都市計画道路3・1・5号前芝豊川線及び東三河都市計画道路3・4・1号国道1号線となります。

決定権者は2路線ともに愛知県となります。

変更対象箇所的位置ですが、2ページをご覧ください。

主たる変更対象路線は前芝豊川線となりまして、市の南部に位置し、三河港と東名豊川ICを結ぶ延長約12,290mの道路となります。

今回ご審議いただく、都市計画変更の対象となる区間は、図面の中央下にあ

ります赤色実線で示した箇所となります。

また、この変更に伴いまして、交差する国道1号線も合わせて変更対象となります。

1ページにお戻りください。変更内容の概略ですが、前芝豊川線は構造形式の変更で、地表式である計画を嵩上げ式に変更するもので、変更区間の延長は約580mとなります。また、国道1号線は交差の構造の変更で、平面交差である計画を立体交差に変更するものです。

変更理由につきましては、3ページをご覧ください。

「1. 路線の概要」から説明いたします。都市計画道路前芝豊川線は、豊橋市新西浜町地内（東三河臨海道路との交差箇所、豊川浄化センター北）を起点とし、豊川市麻生田町大荒子地内（豊川新城線（国道151号一宮BP）との交差箇所）を終点とする延長約12,290mの幹線街路として昭和40年に都市計画決定しています。重要港湾の三河港と東名高速道路豊川インターチェンジを連絡する路線であり、接続する名豊道路、国道1号線、東三河環状線などの幹線道路とともに、広域的な道路網を形成しています。

前芝豊川線は、東三河都市計画区域マスタープランにおいて、物流・工業機能の集積を高めるため、西三河地域や遠州地域と、三河港や本区域との連携を強化する広域的な道路網に位置づけられるとともに、本県の国際競争力を強化するため、三河港から60分圏域内における道路ネットワークの拡充を行っていく方針が愛知県建設部方針2020に掲げられています。また、本市都市計画マスタープランにおいても、広域的ネットワークを形成する高速道路や国道として広域幹線軸に位置づけられています。

次に「2. 都市計画変更の理由とその内容」のうち（1）都市計画変更の理由につきましては、前芝豊川線が都市計画決定された後、新東名高速道路や三遠南信道路など豊川インターチェンジ周辺の広域道路網が整備され、また、地域の持続的な発展のため国際的な物流・産業拠点を形成する方針のもと三河港の取扱貨物量も増加してきており、本路線の重要性がますます高まっているところです。

その一方で、本路線と都市計画道路国道1号線の交差部が、愛知県道路交通渋滞対策推進協議会にて地域における主要渋滞箇所（一般道路）に選定されており、三河港と豊川インターチェンジを結ぶ物流等に支障をきたしています。

こうしたことから、当該交差部において、交通の円滑な処理を図るため、平面交差から立体交差に交差形式を変更することとし、本路線の一部区間の構造形式を嵩上式に変更するとともに、本路線及び国道1号線の地表式の区間における交差の構造を変更するものです。

続きまして4ページの（2）都市計画変更の内容についてご説明いたします。「審議会資料」には、法定の計画書等を掲載しておりますが、内容につきまし

では、別添A3の資料1によりご説明いたしますので、「審議会資料」は適宜ご確認いただければと思います。

それでは別添資料1をご覧ください。上段の図面が計画図になります。

主たる変更対象路線である前芝豊川線ですが、国道1号線との交差部の延長約580mの区間の構造形式を地表式から嵩上げ式に変更します。国道1号線につきましては、国道1号線そのものの構造が変わるわけではございませんが、前芝豊川線の高架化に伴い、交差形式の変更として平面交差から立体交差に変更するものとなります。

下段のイメージ図をご覧ください。こちらは、前芝豊川線を縦断的に見たイメージ図となります。上の図が現況となりまして、現在高架となっている小坂井バイパス（青色）が、三河港から豊川ICに向かってオノ木南交差点の手前で降りる形となっています。今回の変更では、下の立体化案にあるとおり、小坂井バイパスの高架を延伸してオノ木南、宮下、宮下東の3交差点を高架で越え、仲堀交差点の手前で降りる形に変更するものです。

以上が今回の都市計画変更の概要となります。

審議会資料6ページをご覧ください。最後になりますが、これまでの手続きに関する経緯と今後の予定についてご説明いたします。

7月12日に当該変更に係る説明会を実施し、参加者は合計10名でした。説明会の中では整備後の環境への影響等に関する質問があり、愛知県東三河建設事務所より、今後詳細設計を進めた上で、改めて説明をさせていただいたということで、ご理解をいただいております。

この後、愛知県決定となるため、市から愛知県への案の申し出を行い、県から市への意見照会を経て、11月7日から21日までの2週間において、都市計画法第17条の規定に基づき縦覧を実施いたしました。縦覧期間中における縦覧者数は1名で、意見書の提出はありませんでした。

第1号議案及び第2号議案については、本日の審議会での結果を踏まえ、愛知県からの意見照会に対する回答を行う予定です。

その後、愛知県都市計画審議会にて審議がなされ、告示は3月下旬を予定しています。以上で第1号議案及び第2号議案の説明を終わります。よろしくお願いたします。

8 第1号議案及び第2号議案 質疑・採決

(会長)

ありがとうございました。それでは、第1号議案及び第2号議案について、ご意見、ご質問はありませんか。

【質疑応答】

(B委員)

副市長の挨拶の中で、小坂井バイパスの無料化に伴って、交通量が増加してきているとご説明がありましたが、小坂井バイパスの管理は、市か県かどちらの管理となっているのですか、また、新たに造る高架はどちらの管理となるのですか。

加えて、小坂井バイパスが無料化になったことは、一般市民にとっては喜ばしいことなのですが、無料になった理由を教えてください。

(事務局：都市計画課長)

先ず、管理の件ですが、無料化の前後共、愛知県の管理で変わりございません。

無料化になった理由ですが、有料道路でしばらく料金をご負担いただき、通行していただいたと思いますが、建設費にかかる償還が終わったため、愛知県が無料化したものと考えられます。

(B委員)

都市計画の変更が提案されたということは、交通量が増えたということでしょうか。

(事務局：都市計画課長)

交差点部の交通量自体は、若干減少している部分もあるのですが、実際には、大型車両が増えて、渋滞が伸びております。その渋滞が非常に問題となっております。

(B委員)

ありがとうございました。

(会長)

その他、何かご質問を頂けたらと思います。

(C委員)

3・1・5号前芝豊川線は、一部、豊橋市の区間があり、それで港湾の方に行っている訳なんですけども、豊橋市の方から豊川市に対して、「この部分をどうにかしてほしい」という働きかけや要望があったら教えていただければと思います。場所は豊川市なので、当然、豊川市の案件だと思います。

(事務局：都市計画課長)

様々な場面で、ご意見は頂戴していると思います。先ほど説明がありました
が、三河港の貨物輸送量が増えている関係で、やはり、障害箇所は防ぎたいも
のですから、豊橋市から当然、北の方へ向かう部分というのは、いろいろな場
面、経済圏も含めて、ご意見があつたかと思ひます。

具体的な場面としては、市長が参加する様々な東三河の協議会等の会議の中
で、無料化その後、高架化という要望は、交通の円滑さを求める上であつたか
と思ひます。

(C委員)

ありがとうございました。

(会長)

私から参考にお聞きしたいのですが、この立体化の事業費は、基本的に県が
全額負担ですか。市は、負担する必要はないという理解でいいですか。

(事務局：都市計画課長)

はい。県の方の負担で工事がされると聞いております。

(会長)

関連する部分で、何か市が整備することは特にないですか。

(事務局：都市計画課長)

今のところ具体的にはありません。今後おそらく、設計にはいつていく中で、
管理する幹線については、若干、手直しなど考えられるかもしれませんが、今
のところ、具体的にここという路線とか市が管理する路線については、考へて
おりません。

(会長)

分かりました。その他、何かご質問ございますか。

(愛知県東三河建設事務所)

先ほどの小坂井バイパスの件で、無料化の理由としまして、事務局から償還
が終わつたと考えられるためとお答えさせていただきましたが、徴収期間の終
了が理由かもしれません。

少しお時間いただき、回答させていただきたいと思ひます。

(会長)

分かりました。その他、何かご質問ございますか。

(C委員)

商業者にとって、交通の立体交差になると流れもかなり変わってくると思うのですが、説明会の中で、意見があったようでしたら、教えていただければと思います。

(事務局：都市計画課長)

先ほど説明しましたように、7月に説明会を開催しております。10名参加され、事業者の方がいらっしゃいましたが、特に事業の障害になるというご意見は頂戴しておりません。

あと、商業者の方は来ておりませんでした。今後、具体的な工事期間になれば、事前の説明会をしますので、ご意見を伺った上で、工事が進められるものと思っております。以上でございます。

(C委員)

ありがとうございました。

(会長)

先ほどの小坂井バイパスの件は、回答いただけそうですか。

償還期間の終了を待たず無料化を前倒しで行った可能性があり、残った部分の負担があるかもしれません。

最近、昔からある有料道路で無料化した事例は、そういうパターンが多いようです。

(事務局：都市計画課長)

償還の問題もあるかと思いますが、やはり、利用という視点もあるかと思えます。お時間かかってしまうようなので、差し支えなければ、はっきりしない部分につきましては、委員さんそれぞれに、議事録等の中で、後ほど、ご説明できるかと思えますので、それでよろしければ、そのようにしていただきたいと思えます。(※)

【採決】

(会長)

今、事務局からそういう提案がありました。

そのものが、この議案の採決に影響するものではないかと思えますので、後

ほど、議事録のなかで、示させていただくということにします。

その他、ご意見がなければ、採決の方に進みたいと思いますが、いかがでしょうか。

ご意見もないようですので、採決にうつりたいと思います。冒頭で申し上げましたとおり、第1号議案及び第2号議案は関連する案件ですので、一括して採決を行います。

それでは、第1号議案「東三河都市計画道路（3・1・5号前芝豊川線）の変更について」及び第2号議案「東三河都市計画道路（3・4・1号国道1号線）の変更について」は、県の案に「異議なし」として回答してよろしいでしょうか。

【異議なしの声あり】

（会長）

それでは、第1号議案及び第2号議案については「異議なし」とします。

ありがとうございました。

これで本日の議案審議を終了しました。その他事務局から連絡がありますか。

9 連絡事項

（事務局：都市計画課長補佐）

事務局から連絡いたします。今年度の次回審議会の予定でございますが、議題として排水区域の変更に係る「豊川市下水道の変更」、建築基準法の一部改正に伴い地区計画の引用条項を改める必要があるため「豊川西部地区計画」、「大木工業団地地区計画」、「西原足山田地区計画」及び「八幡駅南地区計画」の変更を予定しております。開催日は年明け2月8日（木）午後3時を予定しておりますが、会議のご案内につきましては、準備が出来次第ご連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

10 閉会

（会長）

それでは、これもちまして本日の都市計画審議会を閉会といたします。委員の皆様のご協力を感謝申し上げます。ありがとうございました。

午前 10時10分 閉会

小坂井バイパスの無料化の理由について（P 1 1（※））

1月16日各委員に以下のとおり回答いたしました。

小坂井バイパスについては、名鉄名古屋本線、JR東海道本線などと立体交差しており、三河港から国道1号及び東名豊川インターチェンジへのアクセスを改善するため、有料道路事業という手法で整備し、昭和61年3月に開通しています。

有料道路事業については、料金の徴収期間が満了した場合、又は建設に要した費用等を料金収入で償還した場合に、無料開放することになっており、平成28年3月に料金徴収期間が満了したため、無料化されました。